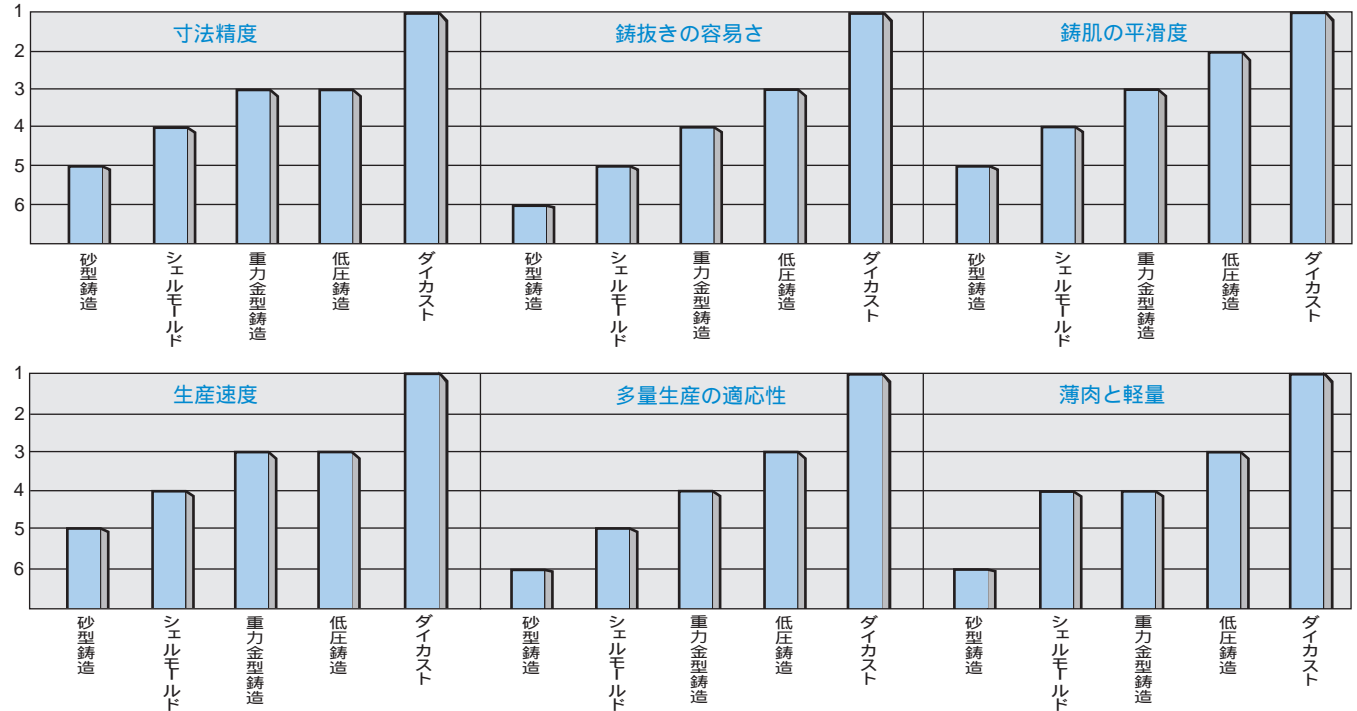


# ダイカストの利点

ダイカストは自動車部品、機械部品、装飾品、その他の完成品などに用いられており、これらの製品にダイカスト法を採

用する需要家は、ダイカストによる多くの特長、利点、利益を得ることができる。各種鋳造法との比較を示す。

各種鋳造法との比較 (1:優れる ←→ 6:劣る)



## 精度と複雑さ

他の鋳造法よりも寸法精度の高い複雑な形状の製品を提供することが可能である。

## 生産性

短時間で多量に、しかも、ほとんど仕上がった製品を製造することができ、また、切削加工は比較的僅かですますことができる。

## 肉厚と強度

他の鋳造法より薄肉にすることができ、鋳物やプラスチック成形加工品より強い製品を作ることができる。

## 外観と寸法安定性

鋳肌(鋳造したままの表面)が滑らかで、寸法も安定している。

## 型の寿命

一つの金型で数千から数十万回の鋳造を行うことができるので、同一製品を多量に供給することができる。

## 薄肉軽量

薄肉ダイカストの新しい技術が、軽量化の傾向に適合し、多く利用されている。

## 表面処理

鋳肌が優れているため、めっき、塗装、その他の表面処理を容易に行うことができる。

## ねじ

めねじは、下穴を金型のピン(鋳抜きピン)により作ることができ、また、簡単なおねじは、ダイカストで成形することもできる。

## 組立て

他部品との結合用のボスやスタッドなどを設けることにより、経済的に組立てを行うことができる。

## インサート(鋳込金具)

異種金属や非鉄金属の材料を、正確な位置に鋳ぐるんでダイカストすることができる。

これらのダイカストの利点を最大限に活用したとき、コストと労力を著しく節減することができる。

上記の特徴に加え、ダイカストの高品質化に伴い、他の鋳造製品に比べて高品質、高性能を発揮できる。また、合金成分における鉄やその他の成分に対する許容度が高いため、リサイクル性が極めて有利であり、省資源、環境保全に寄与するなどの多くの利点がある。

寸法安定性  
経年後に形状、寸法が安定しているかどうかをいう。